

出会いに感謝！！

～素晴らしい子どもたちとともに～

4月8日（火）、いよいよ始業式の日です。満開となった校庭の淡いピンクの桜の花が、登校してきた子どもたちをやさしく出迎え、再会を喜んでいるようです。

今年度、本校児童数は1年生6名、2年生2名、3年生5名、4年生6名、5年生10名、6年生5名の計34名、職員は12名でのスタートとなります。

新任式。私を含め新たに本校に着任した7名が、1年生以外の子どもたちと初顔合わせです。私たちが体育館に入ると、子どもたちは、「どんな先生が来たのかな・・・」というようなわくわくした面持ちで出迎えてくれます。そして、背筋をピンと伸ばし、真剣なまなざしで、時にはうなずいたり語りかけに答えたりしながら、目と耳と心で子どもの自己紹介をしっかりと聴く子どもたちの姿があり、早速北杵築っ子の“素敵”の一つを見つけることができ、心が躍ります。



子どもの代表が、“お迎えの言葉”の中で、「ぼくたちのいいところは、みんながにこにこ、元気がよいところです」と、北杵築っ子のよさを紹介してくれました。短時間の新任式でしたが、人の話をしっかりと聴き、明るく元気に語りかける子どもたちのよさを目の当たりにすることができました。

このような素晴らしい子どもたちとの出会いに大いに感謝しつつ、新任者も気持ちを新たにしたいところです。

豊かで柔軟な発想力と

他者と協働しながらよりよく解決していける力を

昨年度本校で重点的に取り組んできたことに加え、今年度新たに大事にしていきたいことも含め、学校教育目標を以下のように設定しました。

自ら考え挑戦し、ともに高め合う 北杵築っ子の育成

そして、『学び合う子・大切にしよう子・きたえ合う子』という3つの子ども像を据え、始業式で子どもたちにお話ししました。

一つ目の“学び合う子”は、『学習や生活の場面で、自分の考えをもって友達と出し合いながら、一緒によりよく解決できる』姿を。

二つ目の“大切にしよう子”は、『いつでもどこでもだれにでも、言い方や接し方に気を付けてよりよく関わることがで

きる』姿を。

三つ目の“きたえ合う子”は、『自分の体づくりや運動の仕方を見つめ、友達のよりよいところを取り入れながら、よりよい体づくりや運動の仕方に活かすことができる』姿を、それぞれめざしてまいります。

めざす子ども像「学ぶ」「大切にしよう」「きたえよう」のそれぞれの像に、“合う”という他者と協働する姿を織り込みました。

先行きが不透明で変化の激しい社会を生きる子どもたちには、時代に合わせた豊かで柔軟な発想力を持ち、さらにさまざまな考えと出会い、他者と協働しながらよりよく解決していける力を、小学校段階から身に付けて行ってほしいと願います。

これから1年間、めざす子どもの育成に向け、教職員一丸となって努めてまいります。保護者の皆様、そして地域の皆様、これまで同様、引き続き温かいご支援・ご協力の程お願い申し上げます。

心がこだました入学式

4月11日（金）、多くのご来賓のご臨席のもと、入学式を挙行いたしました。今年度の新入生は6名です。

いよいよ入学式本番。6年生と手をつなぎ、少し緊張した面持ちで体育館に入場した1年生を、上級生や来賓の皆様が拍手で温かく迎え、式が始まりました。



私の式辞では、「いつでもどこでもだれとでも大きな声であいさつをすること」「先生の手を見てお話をしっかりと聞くこと」「夜は早く寝ること」の3つのお願いをお話ししました。1年生は、姿勢よく座り、私の方を向いて、時には「はい」と返事をしながら、最後までしっかりお話を聴いてくれています。

式の中で、上級生を代表し、2・3年生がお迎えの言葉を伝えました。また、1年生も声を合わせ、「よろしく願いします」と応えました。

新たに新1年生を仲間に加え、いよいよ本格始動です。

入学式本番に向け、「1年生の心が温かくなるような式にしよう」という思いを持ち、校舎内や体育館の飾りつけの準備はもとより、式での態度や拍手、呼びかけの声、歌声でも思いが伝わるよう練習を重ねた上級生。

式後、にこにこ笑顔の1年生。双方の思いがこだまする式場でした。

